

2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 セントラルフォレストグループ株式会社

上場取引所 名

コード番号 7675

URL <https://www.centralforestgroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永津 嘉人

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 神谷 亨

TEL 052-671-4145

定時株主総会開催予定日 2025年3月27日

配当支払開始予定日

2025年3月7日

有価証券報告書提出予定日 2025年3月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績 (2024年1月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|-----------|---------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年12月期 | 348,074 | 5.8 | 2,817 | 11.4 | 3,144 | 11.8 | 2,250 | 14.8 |
| 2023年12月期 | 328,838 | 5.2 | 2,528 | 55.8 | 2,813 | 46.7 | 1,959 | 54.5 |

(注) 包括利益 2024年12月期 2,519百万円(△9.1%) 2023年12月期 2,770百万円(159.3%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|-----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年12月期 | 263.62 | — | 7.0 | 2.6 | 0.8 |
| 2023年12月期 | 228.07 | — | 6.5 | 2.5 | 0.8 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年12月期 | 122,523 | 32,699 | 26.7 | 3,998.17 |
| 2023年12月期 | 117,679 | 31,408 | 26.7 | 3,670.46 |

(参考) 自己資本 2024年12月期 32,699百万円 2023年12月期 31,408百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年12月期 | 2,698 | 366 | △1,376 | 21,561 |
| 2023年12月期 | 2,520 | △1,077 | △932 | 19,872 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年12月期 | — | 18.00 | — | 25.00 | 43.00 | 367 | 18.9 | 1.2 |
| 2024年12月期 | — | 25.00 | — | 30.00 | 55.00 | 458 | 20.9 | 1.4 |
| 2025年12月期(予想) | — | 30.00 | — | 30.00 | 60.00 | | 21.2 | |

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| 通 期 | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|---------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| | 360,000 | 3.4 | 2,910 | 3.3 | 3,230 | 2.7 | 2,320 | 3.1 | 283.67 |

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年12月期 | 8,781,749株 | 2023年12月期 | 8,781,749株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年12月期 | 603,135株 | 2023年12月期 | 224,635株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2024年12月期 | 8,536,818株 | 2023年12月期 | 8,592,829株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料のP.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算資料の入手方法について）

決算説明資料はTDnetにて同日開示しており、開示後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | 頁 |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 13 |
| (重要な後発事象) | 13 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、金利の上昇や円安の進行が見られる中、所得環境の改善などを背景に個人消費に緩やかな回復の兆しが見られました。一方で、猛暑や台風被害による農産物価格の高騰、エネルギー資源や人件費の上昇を背景とした物価上昇が続いており、生活者の節約志向は根強く残っております。また、トラックドライバーの時間外労働の上限規制が適用され(物流の2024年問題)、物流コストの上昇や輸配送への影響が懸念される中、最適なサプライチェーンの構築に向けた取組みが業界全体で求められました。

このような状況の下、当社グループは「アクセラ2025 新しい時代における最適流通の創造 ― 顧客と地域を支える信頼度No.1 グループへ ―」を長期ビジョンとして当社グループ一丸となって、販売戦略・物流戦略の両輪での取組みを進めてまいりました。

営業面について、各販売チャネルに対する活動は次のとおりとなります。スーパーマーケットに対しては、愛知三河・静岡・三重エリアを重点エリアとし、各エリアの得意先のニーズに対する商品提案、惣菜部門への提案強化により、既存得意先への売上拡大と新規開拓に努めてまいりました。外食・中食・給食に対しては、メニュー提案に加え、魅力ある商品の発掘・開発及び原料の提案を強化し、当社グループ各社が相互で連携して既存得意先への売上拡大と新規開拓への活動を進めてまいりました。コンビニエンスストアに対しては、得意先の日商向上に向け、従来から推進している売場検証に基づくマーチャンダイジング活動において、週次での情報発信を継続し、各種販促提案を進めてまいりました。また、試験販売と売場検証を重ね、カットフルーツの供給も新たに開始いたしました。ドラッグストアに対しては、既存得意先への継続的な収益改善への取組みに加え、得意先の物流課題に対する提案活動により物流受託エリアを拡大するなど、既存得意先との取引拡大を進めてまいりました。その他販売チャネルでは、既存EC事業者向けへの取引拡大を進めてまいりました。

物流面では、従来から推進しているカイゼン活動に加え、ロボットによるバラピッキングを導入するなど、庫内業務の省人化・自動化に向けた取組みを進めてまいりました。また、荷待ち・荷役作業などの時間把握、入荷ドライバーの滞在時間短縮への対策や物流の「2024年問題」及び物流関連2法(物流総合効率化法・貨物自動車運送事業法)改正への対応を進めてまいりました。

その他の取組みとしては、事業会社の国分中部株式会社において、三重県松阪市のハンズオン支援事業として松阪市内の老舗和菓子店の銘菓の販路拡大を開始、静岡県の「バイ・シズオカオンラインカタログ」を活用した県産品の販路開拓業務を開始しました。株式会社トーカンでは、2018年より受け入れを開始した外国人技能実習生が年々増加する中、2024年6月に外国人技能実習生寮「T-フォレスト入場(名古屋市港区)」を開設し、快適で健康的な生活を送るための住居の確保と働きやすい環境づくりを推進しました。

このような結果、当連結会計年度の業績は、各販売チャネルにおける取引が好調に推移したことにより売上高は3,480億74百万円(前年同期比5.8%増)となりました。利益面では売上拡大の寄与に加え、各種改善活動により営業利益は28億17百万円(前年同期比11.4%増)、経常利益は31億44百万円(前年同期比11.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は22億50百万円(前年同期比14.8%増)となりました。

当社グループは、食品酒類卸売事業及びこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比べて48億43百万円増加し、1,225億23百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が26億53百万円、現金及び預金が18億47百万円それぞれ増加したことによるものであります。

②負債

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比べて35億53百万円増加し、898億23百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が30億円、未払金が4億1百万円それぞれ増加したことによるものであります。

③純資産

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末と比べて12億90百万円増加し、326億99百万円となりました。これは主に利益剰余金が18億23百万円、その他有価証券評価差額金が1億56百万円それぞれ増加した一方、自己株式の取得により自己株式が8億円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ16億88百万円増加し、当連結会計年度末には215億61百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローの増加は、26億98百万円となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益31億90百万円の計上、仕入債務の増加額が30億円となった一方で、売上債権の増加額が26億53百万円、未収入金の増加額が6億66百万円、棚卸資産の増加額が4億80百万円となったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローの増加は、3億66百万円となりました。これは、主に定期預金の増加額が9億63百万円となった一方で、固定資産の取得による支出が5億7百万円、投資有価証券の取得による支出が1億30百万円となったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローの減少は、13億76百万円となりました。これは、自己株式の取得による支出が8億11百万円、配当金の支払額が4億27百万円、リース債務の返済による支出が1億17百万円となったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の食品流通業界を取り巻く環境は、人口減少や超高齢化社会の進展に伴い、労働力不足や地方の過疎化といった課題が一層深刻化すると予想されます。一方で、デジタル技術の急速な進歩により、利便性や生活の満足度が更に高まることも期待されます。生活者の価値観やライフスタイルはこれまで以上に多様化し、健康志向や環境配慮といったニーズの高まりに応える取組みも重要と

なっていることから、このような変化に業界全体が柔軟かつ迅速に対応し、新しい価値を創造していくことが不可欠です。

また物流面では、物流関連2法改正への対応に伴う物流費上昇が続くと想定されます。更には、昨今の異常気象や天災といった予期せぬ事象が多く発生する中、お取引先様並びに一般消費者への安定した商品配送が求められています。

このように環境が大きく変化する中において、持続可能な物流体制を構築し、お取引先様の要望や期待に応えていくために、お取引先様に対してできることは何かを常に考え、既存の枠組みを超えて変革し、貢献できることを拡げていく必要があると考えております。当社グループは、『食の最適流通を目指して「流通の森」を創造し、最も信頼される地域密着の卸グループとして、お取引先様と社会の発展に貢献していきます。』をビジョンに掲げております。お取引先様との強固な取組み関係を築き、新しい価値を共に創り上げていく森のような共同体「流通の森」を創造し、食の流通革新に挑み続けてまいります。

また、2021年を初年度とする5か年のグループ長期戦略にて、「アクセル2025 新しい時代における最適流通の創造 — 顧客と地域を支える信頼度No.1グループへ —」を長期ビジョンに掲げております。販売戦略・物流戦略の両輪での取組みを推進することで、東海・北陸エリアで質・量ともに地域No.1、顧客からの信頼度No.1を実現してまいります。

グループ長期戦略の5年目（最終年度）となります次期（2025年12月期）の連結業績につきましては、売上高は3,600億円、営業利益は29億10百万円、経常利益は32億30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は23億20百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、取引先等であり、会計基準につきましては日本会計基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当連結会計年度 (2024年12月31日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 14,322 | 16,170 |
| 受取手形及び売掛金 | 50,519 | 53,172 |
| 商品及び製品 | 13,061 | 13,521 |
| 原材料及び貯蔵品 | 63 | 83 |
| 未収入金 | 10,405 | 11,054 |
| 預け金 | 5,563 | 5,440 |
| その他 | 771 | 718 |
| 貸倒引当金 | △2 | △1 |
| 流動資産合計 | 94,703 | 100,160 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 10,966 | 11,239 |
| 減価償却累計額 | △8,071 | △8,239 |
| 建物及び構築物（純額） | 2,894 | 2,999 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,511 | 1,589 |
| 減価償却累計額 | △1,297 | △1,296 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 214 | 293 |
| 工具、器具及び備品 | 1,015 | 951 |
| 減価償却累計額 | △806 | △771 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 208 | 179 |
| 土地 | 4,590 | 4,590 |
| リース資産 | 961 | 1,074 |
| 減価償却累計額 | △527 | △632 |
| リース資産（純額） | 433 | 441 |
| 建設仮勘定 | 96 | 4 |
| 有形固定資産合計 | 8,437 | 8,508 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 9,295 | 9,616 |
| 退職給付に係る資産 | 621 | 875 |
| 差入保証金 | 2,065 | 1,988 |
| その他 | 1,412 | 444 |
| 貸倒引当金 | △12 | △13 |
| 投資その他の資産合計 | 13,382 | 12,911 |
| 固定資産合計 | 22,975 | 22,362 |
| 資産合計 | 117,679 | 122,523 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当連結会計年度 (2024年12月31日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 76,107 | 79,108 |
| 未払金 | 5,049 | 5,451 |
| 未払法人税等 | 603 | 552 |
| 賞与引当金 | 341 | 325 |
| 役員賞与引当金 | 16 | 13 |
| その他 | 719 | 833 |
| 流動負債合計 | 82,837 | 86,284 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 1,630 | 1,753 |
| 債務保証損失引当金 | 150 | 150 |
| 退職給付に係る負債 | 6 | 5 |
| 資産除去債務 | 614 | 621 |
| その他 | 1,030 | 1,008 |
| 固定負債合計 | 3,432 | 3,539 |
| 負債合計 | 86,270 | 89,823 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,600 | 1,600 |
| 資本剰余金 | 6,053 | 6,053 |
| 利益剰余金 | 20,133 | 21,956 |
| 自己株式 | △390 | △1,191 |
| 株主資本合計 | 27,396 | 28,418 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,948 | 4,104 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 63 | 176 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,012 | 4,281 |
| 純資産合計 | 31,408 | 32,699 |
| 負債純資産合計 | 117,679 | 122,523 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 328,838 | 348,074 |
| 売上原価 | 297,679 | 314,820 |
| 売上総利益 | 31,158 | 33,254 |
| 販売費及び一般管理費 | 28,630 | 30,437 |
| 営業利益 | 2,528 | 2,817 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 27 | 35 |
| 受取配当金 | 124 | 146 |
| 売電収入 | 48 | 45 |
| その他 | 152 | 178 |
| 営業外収益合計 | 353 | 406 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7 | 7 |
| 自己株式取得費用 | — | 10 |
| 売電費用 | 22 | 22 |
| その他 | 38 | 38 |
| 営業外費用合計 | 68 | 78 |
| 経常利益 | 2,813 | 3,144 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 34 | 45 |
| 特別利益合計 | 34 | 45 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 10 | — |
| 特別損失合計 | 10 | — |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,836 | 3,190 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 830 | 942 |
| 法人税等調整額 | 46 | △2 |
| 法人税等合計 | 876 | 940 |
| 当期純利益 | 1,959 | 2,250 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,959 | 2,250 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日) |
|--------------|---|---|
| 当期純利益 | 1,959 | 2,250 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 812 | 156 |
| 退職給付に係る調整額 | △1 | 112 |
| その他の包括利益合計 | 810 | 268 |
| 包括利益 | 2,770 | 2,519 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 2,770 | 2,519 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,600 | 6,053 | 18,477 | — | 26,130 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △303 | | △303 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,959 | | 1,959 |
| 自己株式の取得 | | | | △390 | △390 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 1,656 | △390 | 1,265 |
| 当期末残高 | 1,600 | 6,053 | 20,133 | △390 | 27,396 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|------------------|-------------------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | 3,136 | 65 | 3,202 | 29,332 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △303 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 1,959 |
| 自己株式の取得 | | | | △390 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 812 | △1 | 810 | 810 |
| 当期変動額合計 | 812 | △1 | 810 | 2,075 |
| 当期末残高 | 3,948 | 63 | 4,012 | 31,408 |

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,600 | 6,053 | 20,133 | △390 | 27,396 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △427 | | △427 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 2,250 | | 2,250 |
| 自己株式の取得 | | | | △800 | △800 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 1,823 | △800 | 1,022 |
| 当期末残高 | 1,600 | 6,053 | 21,956 | △1,191 | 28,418 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|--------------|---------------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 3,948 | 63 | 4,012 | 31,408 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △427 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 2,250 |
| 自己株式の取得 | | | | △800 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 156 | 112 | 268 | 268 |
| 当期変動額合計 | 156 | 112 | 268 | 1,290 |
| 当期末残高 | 4,104 | 176 | 4,281 | 32,699 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,836 | 3,190 |
| 減価償却費 | 602 | 634 |
| のれん償却額 | 109 | 93 |
| 退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少) | △74 | △93 |
| 減損損失 | 10 | — |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △34 | △45 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 26 | △16 |
| 修繕引当金の増減額 (△は減少) | △81 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △152 | △182 |
| 支払利息 | 7 | 7 |
| 雑収入 | △200 | △224 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △1,812 | △2,653 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △1,372 | △480 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 3,228 | 3,000 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | △654 | △666 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 230 | 430 |
| その他の資産の増減額 (△は増加) | 48 | 28 |
| その他の負債の増減額 (△は減少) | 152 | 113 |
| その他 | 37 | 29 |
| 小計 | 2,907 | 3,167 |
| 利息及び配当金の受取額 | 147 | 175 |
| 雑収入の受取額 | 200 | 225 |
| 利息の支払額 | △7 | △7 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △726 | △862 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,520 | 2,698 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 固定資産の取得による支出 | △718 | △507 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △285 | △130 |
| 定期預金の増減額 (△は増加) | 996 | 963 |
| 長期預金の預入による支出 | △1,100 | — |
| その他 | 29 | 40 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,077 | 366 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △123 | △19 |
| リース債務の返済による支出 | △115 | △117 |
| 自己株式の取得による支出 | △390 | △811 |
| 配当金の支払額 | △303 | △427 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △932 | △1,376 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 509 | 1,688 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 19,362 | 19,872 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 19,872 | 21,561 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは、食品酒類卸売事業及びこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、食品酒類卸売事業及びこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日) |
|------------|---|---|
| 1株当たり純資産額 | 3,670円46銭 | 3,998円17銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 228円7銭 | 263円62銭 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度末 (2023年12月31日) | 当連結会計年度末 (2024年12月31日) |
|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 連結貸借対照表の純資産の部の合計額 | 31,408百万円 | 32,699百万円 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額 | 一百万円 | 一百万円 |
| 普通株式に係る純資産額 | 31,408百万円 | 32,699百万円 |
| 普通株式の発行済株式数 | 8,781千株 | 8,781千株 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 | 8,557千株 | 8,178千株 |

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日) |
|--------------------------|---|---|
| 連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,959百万円 | 2,250百万円 |
| 普通株主に帰属しない金額 | 一百万円 | 一百万円 |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,959百万円 | 2,250百万円 |
| 普通株式の期中平均株式数 | 8,592千株 | 8,536千株 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。